

1年 コーポレートアクセス中間発表

1学年 総合的な学習の時間では、これから変化の激しい社会を生き抜くために、企業がどのような企画やサービスを提供したらよいのかということについて考え、自分たちならどうする？と具体的な方向性を提案していくことを通じて、キャリア学習をしています。

これが、城南中学校の職場体験学習です。今回は、各企業から示されたミッションを解決するための中間発表を行いました。

企業が提示したミッション

【イオンリテール】

「平和がはじまる」イオンが本気で取り組むべきチャレンジを提案せよ！

【オカムラ】

社会に「豊かな余白」を生み出す オカムラの新事業を提案せよ！

【キモノハーツ】

「次世代のカルチャー」を築く キモノハーツの新プロジェクトを提案せよ！

【鴻池組】

「自然と人がとけあう」社会へと革新する 鴻池組の未来プロジェクトを提案せよ！

【サントリー】

「ありのままでいられる時間」をすべての10代に届けるサントリーの社会的プロジェクトを提案せよ！

【富士製薬工業】

「不思議なタブー」から人々を解放する 富士製薬工業の新たな挑戦を提案せよ！

【レゾナック】

「見えないチカラ」で社会を豊かにする レゾナックならではの実験的プロジェクトを提案せよ！

企業から出されたミッションは難しく、簡単に答えがでるものではありません。グループのみんなの知恵や意見が必要です。



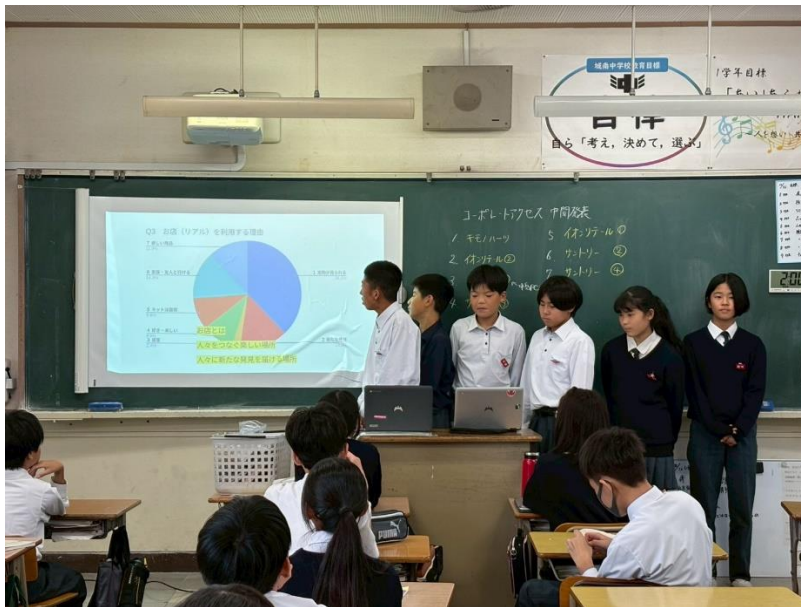
メンバーの発言を
否定しない。突拍子
もない意見に耳を
傾けてみると、超え
られない壁を越え
ることができます。

ミッション自体を
理解しなければ、先
にすすめません。

メンバーの意見を
集約したり、疑った
りしながら企画が
良くなります



考えた意見をみんな
に分かるように
発表します。
発表のしかたも大
切です。



絵やグラフを使うと
分かりやすく、根拠が
はっきりします。より
説得力がある説明に
なります。

自分たちが考えた
企画が、もしかする
と世の中を変える
ことができるかも
しれません。



説明しているうち
に分らなくなる
こともあります。
「おや？やっぱり
分からない」がより
企画を現実的にし
ます。





働く人たちは、常に
人の役にたつ仕事
を考えています。

そんな企画の仕事
を模擬体験するき
っかけになってい
ます。

発表した後に、企業
の方からオンライ
ンでアドバイスを
もらいます。

企画のよいところ
だけでなく、改善点
も見えてきました。



「仕事を自分たちで企画する」という「職場体験学習」に、みんながアイ
デアを出し合いながら取り組んでいるところです。

友だちの発表や、企業の方のアドバイスを参考に、よりよい企画を作っ
ていきましょう。

また、日常生活に、宝もののようなアイデアがたくさん転がっているか
もしれません。普段から注意して、生活を見つめなおしてみましょう。